

交換留学(派遣) 帰国報告書

皆さんが無事留学を終えられたことを嬉しく思います。本報告書は以下の目的のために使用されます。

- ① 皆さんの留学に関する状況を把握するための資料です。
- ② 今後、交換留学プログラムを改善するための重要な資料となります。
- ③ 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために、ぜひご協力ください。



本報告書は帰国後、1ヶ月以内に写真データと一緒にメールで提出してください。

あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)	
留学先大学:	リエージュ大学
留学先での所属学部・研究科:	経営学部
留学先での在籍身分:	erasmus
留学期間:	10か月
神戸大学での所属学部/研究科:	経営学部
学年(出発時):	3年
帰国日:	6月29日
本報告書記入日:	2023/6/29

1. 留学先大学について

1-1	受入許可書(Acceptance Letter)を貰えた日	5月17日
	参加必須のオリエンテーション日	月 日
	学期:	① 9月18日~1月30日
		② 2月8日~6月30日
	③ 月 日~ 月 日	
	④ 月 日~ 月 日	
1-2	留学先大学の特長、人気のある分野等について記入ください。	HECは他の学部とは位置づけが多少異なる。リエージュ大学の他の学部よりも人気があるようだった。世界中から学生が集まり、留学生向けの授業もいくつか開講されている。
1-3	留学先大学のサポートについて記入ください。	コーディネーターは温厚な人で分からないことがあればすぐに対応してくれた。
	語学面でのサポート:	毎週フランス語の授業が無料で履修できる。
	勉学面でのサポート:	
	精神面でのサポート:	サポートしてくれる団体を教えてくれる
	住居・生活面でのサポート:	ESNIに頼めば住居などを探すのを対応してくれるそうだ。
	課外活動のサポート:	

2. 住居について

2-1	住居についてアドバイスを含ま自由記入してください。(気を付けること等)	大学のキャンパスの近くの市街地に住むことをお勧めします。冬はすぐに暗くなり、8時頃であっても夜一人で出歩くことは危ないと注意されました。大学付近には、スーパーや飲食店など一通りそろっているのだからかなり便利です。
-----	-------------------------------------	--

3. 生活について

3-1	インターネット接続環境について	
	住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。	ZOOMなどをしていると途切れることがよくあった
	大学内のインターネット接続可否(wi-fi)等について記入してください。	学籍番号を登録すれば接続できる、接続環境は良い
3-2	医療について	
	留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。	通ってない
3-3	銀行口座等について	
	留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュパスポート等)	SONY銀行の口座を作っていた。ベルギー内では現金はほとんど使わなかった。

4. 経費について(奨学金、留学費用)

4-1	奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等):	
	支給額(円/月):	
	その他(渡航費等の支給):	
4-2	留学期間を通して必要だった費用を記入してください。(概算で結構ですので、円価で記入してください。)	
	航空運賃:	約230,000円(往復)
	住居費:	(月額)90000円 × (留学月数)10ヵ月 = 900,000円
	食費:	(月額)20000円 × (留学月数)10ヵ月 = 200,000円
	保険料:	円
	その他:	円
	合計(留学期間全体の費用):	1,500,000円

5. 異文化体験について

5-1	留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。	
	大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。	外国から来た人と現地人をつなぐ非営利団体の英語の会話テーブルに毎週参加していた。フランス語の先生の紹介で月に一回日本語を教えていた。
	課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。	していない
	留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等)	若い人は英語も喋れるが、フランス語しか話せない人も多くいる。様々な国籍の人が暮らしているため、外国人への対応も慣れていない人が多い。たまに軽くアジア人差別されているように感じることもあるが、基本的にはない。周りの留学生からするとあまり治安はよくないようだったが、他のヨーロッパの国々と大差はない。ホームレスは町中にある。

6. 就職活動について

6-1	留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、どんなことをしたか教えてください。	オンラインで早期選考を受けた。出国前の夏休みにインターンに参加した1社のみオンラインで面接を受けた。
-----	--	--

7. アドバイス、振り返り		
7-1	現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。	
7-2	現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。	
7-3	留学することによって得られたことについて記入してください。(語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等)	・異文化理解 ・多面的な視野
	語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。	留学前:() 点 → 帰国後:() 点
7-4	振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。	フランス旅行の際、ホテルを間違えて少し危険な地区を歩くことになったこと。治安の悪さを体感した。
7-5	留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。	留学先を変更したことで奨学金の申請に間に合わなかった際に、サポートしていただき良かった。学生に対する奨学金に関しての情報共有は平等にしてほしい。また、留学先の情報がかなり限られていたのも出国前少し不安に思った。
7-6	本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。	勧める 一年間も海外で過ごす経験ができ、神戸大学の学費のみを払って留学できるのはすごく貴重な体験だと感じたから。奨学金を取ることができれば、日本で大学生活をしているのと経済面では変わらない。社会人になって仕事で海外に言ったり自分で費用を稼ぐことと比較するとすごくありがたい環境だと思う。興味があるならば、"留学"を重く受け止めすぎずに参加してほしい。
7-7	留学全体を振り返って、以下の質問に答えください。	(5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価)
	・留学先大学の授業の「質」(内容、レベル等)に満足しましたか	5
	・留学先大学の学生サービスに満足しましたか	5
	・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか	4
	・住居の「質」(広さ、料金等)に満足しましたか	3
	・全体として留学に係る費用は安かったか、満足しましたか	3
	・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか	3
	・留学全体の総合的な評価	4

8. その他感想、後輩へのメッセージ等を自由に記載してください。(800字～)	
<p>10か月間エージェで過ごし、自分にとって重要な時間を過ごしたように思います。短い時間ではありましたが、多くの人と交流し、あらゆることを経験できた実りある一年になりました。この経験がこれからの自分の考え方や生き方に大きく関わってくると感じています。留学生活を通して感じたことや学んだことをこれから留学に行く人へのメッセージとしてまとめたいと思います。</p> <p>1. 考え方や感じ方は十人十色 日本にいても人によって感じ方が違うことは当たり前ですが、留学をして色々な文化背景を持った人と関わることでその違いを感じる事がとても多くありました。同じものを見ても、同じことを経験しても自分と異なる価値観や文化が違う人と関わることで、自分のものごとの受け取り方や感じ方についての気づきが多かったです。色々な文化を持った人々と一度に関わる環境に身を置くことで、日本にいてもなんとなく周りに合わせていた自分のことを知る、とてもいい機会になりました。日本にいてもそれぞれ考え方が違うことは当たり前ですが、環境が変わることで気づいたことは多くあったため、その都度自分がどのように考えているのかをじっくり感じることを大切にしたいと思います。</p> <p>2. 留学にきているから、と考えすぎない 出国前、私にとって留学のイメージは、多くの人と交流して英語力をのばすものでした。もちろん、それは間違いではありません。しかし、留学生活を終えた今、自分が得たものはそれ以上のものだと感じています。日本にいた頃は、毎日学校以外に部活、アルバイトに追われ、忙しい日々を過ごしていました。その状態を抜けて留学に来たからには多くのことを学んで帰らなければ、という焦りがありました。最初の二か月程は多くの人と関わり、英語を話す機会もたくさん作っていました。しかし、三か月目に入ったころから、その生活に少し疲れ、無理に人と関わることを意識せず、自分の時間を作るようになりました。日本にいたときは日々の生活に追われていたため、目の前のことにいつも精一杯でしたが、その環境を離れて過ごすことで自分と向き合う時間が増えていることに気づきました。これまではなかった、漠然と将来のことを考えたり、自分の置かれている環境について考える時間は私にとってとても有意義なものでした。日本にいても考えられるようなことでも、今の環境を物理的に離れて新しい人間関係、全く違う場所にいるからこそ気づくことは多くありました。世界中の人と関わることは留学の醍醐味ですが、日本の環境から離れるということも意味があります。これから参加する人には、一概に留学で得られるものを決めつけずに過ごしてほしいと思います。私の場合、日本に帰ったときに自分は留学で何を学んできたといえるだろうか、何を期待されるのだろうかと常に意識していました。もちろんそれは学びを得るうえで大切なことですが、あまり意識しすぎず過ごすことも大切だと思います。英語力やコミュニケーション能力など、形に残るものや周りからの評価だけを留学の目標にせず、十年・二十年後の自分があの時いつよかったな、と思えるような長い目を持って時間を過ごして欲しいです。</p> <p>3. 周りとは比べない、焦らない まず第一に、ヨーロッパの留学生と私の英語力はかけ離れていました。一緒に授業を受けている留学生は私から見ればみんなネイティブのように話します。私は、英語力をのばしたいという思いがありました。英語力をのばすために交換留学をしている人はほとんどいません。彼らは留学する時点で英語が堪能であり、コミュニケーションにおいて英語で困ることはほとんどありませんでした。留学に行くとすぐは、友達とご飯に行ってもみんなのスピードについていけず、焦りが募りました。しかし、喋らない限り自分の英語力の低さを示すことはありませんし、とにかく焦りすぎず、自分のペースで話すように意識しました。一年間で英語力が格段にのびたとはいえませんが、人とのコミュニケーションの取り方やリスニング力は少しは伸びたと感じています。私自身、最初は周りと比較して落ち込むことが多かったのですが、周りに比べて英語力が低いことに引け目を感じすぎず、自分のペースを大切にしたいと思います。</p> <p><留学に行くかどうか迷っている人に向けて> 私が留学に来て実感したのは、私が思っていたよりも留学のハードルは低いということです。留学に少しでも興味があり、チャレンジする機会があるならぜひ挑戦してほしいと思います。渡航前は、海外で一年過ごすということは、すごく大きなことに感じていました。しかし、実際に過ごしてみようと思えば、良くも悪くも留学も大学生活であることに変わりない、ということです。神戸大学で過ごしている時間を一年を場所を変えて他の大学で新しい人たちと過ごす、と重く受け止めすぎずに参加してほしいです。100%誰もが留学にいった方がいい、というわけではありませんが、行って後悔することはほとんどないと思います。英語力や交流に限らず、海外で一年過ごすという経験は今後の自分の価値観に影響を与えてくれますし、自分の選択肢が大きく広がると感じます。たとえ、留学に行っても進路が変わらなくても、広い世界をみたくての自分の決断により自信が持てるようになると思います。私も帰国したばかりでこの経験が今後の自分の人生にどのような影響があるのかは分かりませんが、必ずどこかで自分の背中を押してくれるように思います。社会人になる前に学校のサポートで留学にいけるという機会を是非、皆さんにも経験してほしいと思います。</p>	

9. 留学経験の共有について	
あなた自身の写真や大学キャンパス等の写真があれば、ぜひ報告書と共にGEMsにアップロードしてください！	
もしあなたと同じ大学(国)に留学する神戸大学の学生があなたと連絡を取りたい場合、あなたのメールアドレスを学生に伝えることに同意しますか？	はい
同意する場合、連絡可能なメールアドレス:	

1-4 近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数／週	留学先での単位数	授業での使用言語	履修している学生数	予習、復習、テスト等の成績評価についてアドバイスも含めて教えてください
1	Strategic stakes in globalization	Madeleine Hubin	2h/w	5	英語	100	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広く国際関係について学ぶ授業 ・グループワーク・発表、レポート、テストで評価 ・履修生はほとんど留学生
2	Private International Law	Cedric Vanleenhove	4h/w	3	英語	150	<ul style="list-style-type: none"> ・経営学、management 専攻の院生がほとんど ・ビジネスで使う法律について学ぶ授業 ・評価：MCQ100%
3	economics of globalization	Joseph Tharakan	2-3h/w	5	英語	100	<ul style="list-style-type: none"> ・オンデマンド授業、貿易の経済学 ・評価；毎週の小テスト、written exam
4	Digital Business	André Blavier	3h/w	3	英語	200	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルについての基礎を学ぶ授業、講義形式 ・個人レポート、MCQテスト
5	International Strategy		3h/w	3	英語	70	<ul style="list-style-type: none"> ・国際戦略についての授業、ゲストスピーカー ・ベルギーの院生がほとんど ・評価：written exam100%

・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

--